

学校を飛び出して、
池田高校の先輩取材しよう！

これだけ笑う仕事は
ないだろうと思うぐらい
毎日笑顔でいられる

養基保育園 衣斐美紀子さん



池田高校10回生の衣斐美紀子さんは、現在育児休暇中ですが養基保育園の保育士として活躍されています。そんな衣斐美さんに、仕事のやりがいや私たちへのメッセージを聞きました。

Q..いつ保育士になろうと思ったのですか？

高校二年生で進学しようと思いで、自分が何やりたいかなと考えて、やっぱり小さい子好きで、音楽も好きだし、絵を描くこととか物を作る事も好きだから保育士をやってみようかなと思いました。

Q..保育士になるためには国家資格が必要ですが、それを取るためにどのような勉強をしましたか？

私は短大卒業と一緒に資格が得られたので、授業に真面目に出て、単位をしっかりと取ったという感じでした。二年間のうちに実習とか何か所も行かなくてはいけなから、二年生になっても朝から夕方までみっちりあって大変でした。

Q..保育士として働いていて、嬉しかったことややりがいがありますか？

子供の笑顔が見られるのと、昨日まで出来なかったことが出来る瞬間に立ち会えて、成長を感じるところです。成長した子を見るのはやっぱり嬉しいし、特に年長さんを持つと卒園式で巣立っていく姿をみるのがすごく嬉しくて、保護者と一緒に成長を分かち合えるのもすごく嬉しい瞬間です。

Q..苦労することはありますか？

とにかく書類が多い事です。便りもそうですけど、子供の記録を残すことがすごく大事なので、記録や日誌など、書く仕事が多く多いです。一年目の時は、ポケットにメモを入れて歩いていました。子供が何かをしたときに、ぱっとメモを取って、後で落ち着いて書類にできるようにしていました。

Q..失敗してしまったことはありますか？

現在育児休暇中ですが、今年の秋に復帰しようと思った理由はなんですか？

私は、主人の家族と一緒に住んでいて、子供を見てもらえる環境にあるので、子供ができて辞めようとは思わなかったです。

Q..復帰に当たって、仕事と育児の両立に不安はありますか？

不安だらけです。今二人の子供を育てていて、復帰する図が想像出来ないぐらいに家がしつちやかめっちゃかなので、不安があります。でも、一人目の時も復帰して、今二人目でまたお休みを貰っているの、なんとかなるかなと思いつつながら生活しています。

Q..復帰して頑張りたいことはありますか？

働くお母さんになって、保護者の気持ちがよく分かるようになりたいです。より親身になり、保護者目線に立って保護者の思いを理解しながら保育出来るようにしたいなと思っています。

Q..保育士という仕事は、女性が結婚して、子供が生まれて、今の衣斐美さんみたいに産休した後でも、両立しやすい仕事ですか？

両立は難しいですが、両立しているかたは沢山います。でももし、両立できない時期があっても、また自分が落ち着いたら復帰できるので、頑張れば両立はできなくはないと思います。保育士は免許を持つていても、働かない人がいっぱいいるから、保育士不足と言われていて、今少しずつ待遇が良くなってきてはいるけど、もうちょっと変わっていかないと、保育士を続けてく人は少ないと思います。すごく魅力のある仕事で、私は続けたいと思っています。すごく魅力のある仕事内容と報酬がみあってなく厳しくて、資格を持つていてもやらない人が多いから保育士不足になっているのではないかなと思います。そういうのがだんだん良くなっているって、問題が解消されるといいなとすごく思います。子供はすごくかわいいし、仕事自体も魅力があります。これだけ笑う仕事はないだろうなって思



毎日ありますね(笑)。いつも子供の目線に立って考えたいなとは思っています。忙しさにまかせてしつかり対応出来てなかったり、少し怪我させそうになったりとか、細かいところは本当に毎日あります。保護者と話しをして相談されるけど、お母さんが今欲しかったのは、こんなアドバイスではなかったかな、聞いて欲しかっただけかなとか、自分の中で失敗だったなと思うことは日々あります。

Q..保護者はどんなことを不安に思っている保育士さんに相談しますか？

うちの子なかなか保育園に慣れないけど大丈夫かな、ちゃんとみんなと一緒に過ごせているかなとか、みんなと違って成長遅くないかなとか、成長をみんなと比べる相談が一番多いです。



Q..相談を受けてどんなアドバイスをしますか？

お母さんたちはすごく精一杯子育てをしているので、まずは、「母さん十分頑張っているよ」と言います。あまり上から目線にならないように、まずはお母

うぐらい毎日笑顔でいられます。

Q..池高生にメッセージをお願いします。

社会人になってもっと勉強しておけばよかったと思います。勉強は本当に大事だなというのは後から思えます。また、高校の時の友達をいっぱい作ってほしいです。私は、短大からはもう保育の専門なので、高校以降の友達はみんな同じ業界の人が多かったです。高校の友達は、いろんな職の子がいて、今でも仲いいこと会ったりしています。その友達と話をするとすごく刺激を受け、そういう世界もあるんだあと思いで、自分の世界がすごく広がります。これからもいっぱい友達ができるだろうけど、高校の時の友達をいっぱい作っておけるといいなと思っています。

取材・記事…梶谷 莉央

私は将来保育の仕事に就きたいなと考えていて、実際に保育士として働いている衣斐美さんに保育士という仕事の大変さや嬉しさなど、たくさんのお話を聞きました。自分の将来に生かせることをたくさん教えて貰えたので、それを力に素晴らしい先生になりたいなと思っています。自分がやりたいことについては精一杯取り組めるので、しっかりと将来の夢について時間をかけてでも見つけることは大切だと思えます。この活動に参加して本当に良かったと思います。



さんの不安を聞いて、「大丈夫だよ！」と言って、でも気になるのであれば、私からもときどき話はしていきます。あまり不安にならないようなアドバイスと親身になって話を聞くようにしています。

Q..衣斐美さん自身、子供と接するときに気をつけていることはありますか？

子供の話を聞くことを心がけています。大人から見るとただの乱暴に見えることでも、子供には理由があったりする事も多いので、思いをくみ取ってから話すように心掛けています。

Q..保育士という仕事について想像していた事と違うなと思うところはありますか？

書類の多さです。子供と歌を歌ったり、一緒に作品作ったりという良い部分ばかりをイメージして入ったので、「えっ！こんなに書くの?!」という感じでした。それは書き方や言葉の一つから一年目はすごくチェックされて、机に座ってする仕事がほんとに多いのがイメージと違いましたね。